

# いま、中学生が訴えたいこと

青少年の非行の芽をつみ、心豊かでたくましい青少年を育てるためには、何よりも健全な家庭環境が大切です。非行防止と青少年健全育成町民大会で「いま、中学生が訴えたいこと」をテーマにした中学生の意見発表がありました。発表された意見を紹介します。(敬称略)

☎メモリー とんがったスタイル 文化センター ☎83-9567



## 幸福について

東浦中学校 3年生  
市原 怜奈

皆さんは、幸福について考えたことはありますか。「幸福」とは、満ち足りていること、不平や不満がなく楽しいことを表します。私の日常生活を思い浮かべてみました。平日は学校に行き、授業を受けたり部活動に取り組んだりします。塾に行く日もありません。休日は、習い事に行ったり、家族や友人と出掛けたりします。ルーティン化されていますが、よくよく考えてみると、学校で過ごす時間、塾や習い事に行けること、家族や友人との時間、どれをとっても当たり前のことで気づけなかったけれど、何でもない日常が幸福だと改めて気がつきました。

最近、若者の犯罪が増えています。例えば、闇バイトや薬物の乱用です。闇バイトに手を染めてしまった理由として、お金が欲しかったからという声をよく聞きます。また、薬物の使用については、好奇心や現実逃避したいからといった理由があるようです。では、このような人は、どうしたら幸せになれるのでしょうか。こんな疑問が浮かびました。ただ、なかなか答えは見つからず、幸せの価値観は人によって違うから、誰かに聞いても、インターネットで調べても分からないと諦めかけていました。しかし、あるとき突然、その答えに出会いました。離任式の日でした。二年生のときに理科を担当してくれた恩師が一番最後にお別れの挨拶をされました。その話の中に答えがありました。「どうしたら幸せになれるだろうか。幸せになるための条件、それは人に認められること、人に愛されること、人の役に立つこと。そのためにはどうするのか。いいか。人に認められたければ、人を認める。人に愛されたければ、人を愛せ。人の役に立ちたければ人の役に立て。」そうおっしゃいました。私は、

恩師の言葉に釘付けになっていました。人は、一日で七十四パーセントの記憶を失うといいますが、離任式から何日経っても、その言葉は、まだ私の頭の中にはつきり残っています。罪を犯した人も、きつと人から認められ、愛され、そして幸せになったのだと思います。でも、間違った方法を選んでしまったのでしょうか。

ラッセルの幸福論には、幸福をもたらすものとして、熱意・愛情・家族・興味・努力が挙げられています。人生に熱意があれば、様々なことに興味湧いて人生が楽しくなり、愛されている感情があると熱意が促され、親子であることの喜びを感じることが幸福を感じることと書かれています。幸福は、外部の環境に依存していることが分かります。しかし、それだけではなく、恩師の言葉にあるように、自分自身にも依存しています。人を認めたり、愛したり、人の役に立つたりするなど自ら行動することで幸せを掴むこともできるのです。

みなさん、幸福とは何か、自分なりの答えを出すことはできましたか。今答えが出なくても、幸福だと感じていたらきつとそれが答えです。答えが出せなくても、人を悲しませることです。幸福を得ることはやめてください。また、自分を傷つけて幸福を得ようとしなくてください。周りには一緒に考えてくれる誰かがいます。困った時は、スクールカウンセラーの方に相談したり、相談センターの心理士さんなどに相談してもいいかもしれません。私は、犯罪や薬物使用、自傷行為などの不幸な行動をしまつう人が減るのを願っています。

幸福な人とは、自分の人格が内部で分裂してもいいし、世間と対立してもいい人を表します。自分より幸福だと思っている人と比較して妬むことで不幸が生まれます。幸福の価値観は人によって違います。だから、みなさんも他人と比較せず、自分の幸せを考えてみてください。

今、何気なく過ごしている日々が幸せ、当たり前の日常が幸せ、そう思えば身近に幸福があります。私は自分の幸福も、世界中の人々の幸福も願っています。



## 友達の存在

北部中学校 3年  
杉浦 凧紗

皆さんは友達とけんかを  
して、学校に行きたくない  
と思ったことはありませんか。  
これは多くの人が感じたこ  
とのある気持ちだと思いま  
す。けれど、学校に行くとい  
うことはたくさんの人と関  
わり、友人関係を築ききつ  
けになります。私は学校に  
行き、友達と関わることは  
人生の中でとても大事なこ  
とだと思っています。

私は小学校三年生から五  
年生まで、父親の海外赴任  
についていく形でベトナムで  
生活していました。学校は  
日本人学校に通い、慣れな  
いこともたくさんあったけ  
れど、とても楽しく生活して  
いました。けれど、ある日そ  
んな生活が終わりを迎える  
ました。新型コロナウイルス  
が流行し始めたのです。ベ  
トナムは日本と違い、社会  
主義の国です。突如出され  
た緊急事態宣言により、一歩  
も外に出られない生活が始  
まりました。学校の授業は  
オンラインで行い、買い物に  
行くときは必ず一人で行か  
なければならぬため、ほと  
んど外にも出られない。そ  
んな日々が続く中、私は家  
族以外の人との関わりがど  
んどん減っていきまし。そ  
れから半年ほどがたち、緊  
急事態宣言が解除されて学  
校に行くことができるよう  
になりました。だんだんと  
今までの日常が戻ってきた  
ようでしたが、私は家族以  
外とほとんどしゃべっていな

かったせいか、人前で話すこ  
とがとても苦手になってい  
ました。  
「今、学校で  
声を出して笑っていた。」  
この言葉は、ある日友達  
が私の親に言った言葉です。  
私は自分の親からこの言葉  
を聞いた時、とても衝撃を  
受けました。「私ってそんな  
に笑っていないのかな」そう  
思ったことを覚えています。  
自分ではたくさん笑ってい  
ると思っていたのです。けれ  
ど、今になってよく考えてみ  
ると、当時は笑っていると思  
っていたけれど、私の笑いは表  
情が変わるくらいで、声を  
出して笑うことはほとんど  
なかった気がします。

日もまた次の日もクラスの  
みんなはたくさん話しかけ  
てきてくれました。それか  
らというものは、私は友達とい  
ろいろなところに遊びに行  
たり、家で一緒にゲームをし  
たりと、それまで体験したこ  
とのないような経験をたく  
さんしました。そんな日々  
が続き、気付くと小学校の  
卒業式の日になっていました。  
卒業式が終わった後、先生  
と親が話をしていたので、私  
はそれを横で聞いていました。  
すると、先生が

「最近をよく笑うようになって  
た。戻ってきた時は表情が  
ほとんど変わらなかつたか  
らな。」  
と言いました。その時、私は  
初めて自分が声を出して笑  
うことができるようになって  
いたことに気づきました。  
家に帰ってから、自分はどう  
してそんなふうになつたこと  
ができるようになったのか  
を考えていました。そんな時、  
まず一番に思いついたのは友  
達の存在でした。今までは  
ほとんどの時間を親と一緒に  
過ごしていたけれど、日本に  
戻ってきてからは、友達とた  
くさん関わるようになりま  
した。共通の話題で盛り上  
がったり、冗談を言い合つた  
りと、友達と話したり遊ん  
だりすることは、私にとつて  
かけがえのない時間となつ  
ていきました。そんな日々  
を過ごすうちに、私は自分  
でも気づかないほど自然に  
笑えるようになっていたの  
だなと思いました。  
時には、意見が食い違つて  
友達とけんかをしてしま  
うこともあると思います。け  
れど、友達がいるからこそ  
経験できる様々なことがあ  
ることを私は学びました。  
私は、友達と関わることで  
得られるものは人生の中で  
役に立つ、素晴らしいものだ  
と思います。なので、皆さん  
も学校に行き、友達と関わ  
ることを大切にしていってほ  
しいです。



## 自分らしさ

西部中学校 2年生  
副島 千優

貴方には、貴方の自分らしさを大切に、自分を愛してほしいと思います。自分を愛するということは、良いところも悪いところも全て合わせて、まるごと自分を好きになるということです。

一つ目は、自分から見える自分と相手から見えている自分は意外と違うからです。相手から見えている自分とは違う言動をしたとき、相手から驚かれたという経験をしたことはありませんか。この経験をしたという人は少なくないと思います。このように、自分から見えている自分と、相手から見えている自分に誤差が生じる場合があります。

物でさえ、全ての人から好かれるのは不可能なので、人間も全ての人から好かれるのは不可能だと思います。それなら、ありのままの自分を愛してくれる人を大切にしたいほうが幸せだと思いますか。

二つ目は、思いっきり笑えるからです。コロナ禍では、マスクを付けていないと非難され、外にもまともに出られない状況でした。人との交流が減り、笑顔が減り、友達がいなくなりました。コロナが少し落ち着いていた頃、私に友達ができませんでした。しかし、私は嫌われるのを恐れ、気が付けば自分を殺して嘘の笑顔で過ごしていました。笑う理由が分からなくなり、ずっと怯えていました。あるとき、このままではいけないと思い、勇気を出して自分らしく振る舞ってみたのです。

はやっと気付くことができました。笑顔は、大切な人と楽しさや幸せ、喜びなどの感情と一緒に共有するためにあるということに。自分らしく生きること、自分を受け入れてくれる、自分が大切にしたいと思う人に出会え、思いっきり笑えると思います。他人の目に怯えて作った笑い方より、思いっきり自分らしく笑っていたほうが何百倍も素敵で輝いて見えます。

三つ目は、ポジティブになれるからです。自分を愛するということは、自分のいいところだけでなく、自分の悪いところも認める必要があります。そのために悪いところをポジティブに変換します。例えば、せつちかちという言葉をポジティブに変換します。すると、行動力があり、効率的に動くことができるに変換できます。短所は長所にできます。ポジティブ変換することで、ポジティブな考え方が身に付き、明るく前向き

に生きていくことができるようになると思います。

以上の理由から、私は自分らしさを大切に、自分を愛してほしいと思います。この訴えを聞いて、心に響いて実践しようと思ってくれた人、真剣に耳を傾けてくれた人、この考え方は分かるが自分にはできないと思っている人など、いろいろな感じ方をした人がいると思います。感じ方に正解はありません。どう感じるかも自分らしさです。貴方のことを嫌いという人がいれば、好きと言ってくれる人もいるでしょう。貴方のことを嫌いな人のために、自分を押し殺してほしくないです。自分を愛することは、自分以外を愛するより難しいと思います。だからこそ、自分を愛せたときに、新しい世界が見えてくると思います。自分らしさを大切に、自分を愛せる人が一人でも増えたらいいなと思います。

「自分らしさ」という言葉を聞いて、みなさんは何を思い浮かべますか。自分らしさとは、自分の大切にしていることやその人の生き方が表れているものだと私は思います。私のような考え方をしている人も、そうではない考え方をしている人も、いろいろな考え方の人がいます。同じように、自分らしさも十人十色です。

数の苦手な人がいます。動物でさえ、一定の人気の動物でさえ、一定の苦手な人がいます。動物でさえ、全ての人から好かれるのは不可能なので、人間も全ての人から好かれるのは不可能だと思います。それなら、ありのままの自分を愛してくれる人を大切にしたいほうが幸せだと思いますか。

二つ目は、思いっきり笑えるからです。コロナ禍では、マスクを付けていないと非難され、外にもまともに出られない状況でした。人との交流が減り、笑顔が減り、友達がいなくなりました。コロナが少し落ち着いていた頃、私に友達ができませんでした。しかし、私は嫌われるのを恐れ、気が付けば自分を殺して嘘の笑顔で過ごしていました。笑う理由が分からなくなり、ずっと怯えていました。あるとき、このままではいけないと思い、勇気を出して自分らしく振る舞ってみたのです。

三つ目は、ポジティブになれるからです。自分を愛するということは、自分のいいところだけでなく、自分の悪いところも認める必要があります。そのために悪いところをポジティブに変換します。例えば、せつちかちという言葉をポジティブに変換します。すると、行動力があり、効率的に動くことができるに変換できます。短所は長所にできます。ポジティブ変換することで、ポジティブな考え方が身に付き、明るく前向き